

奨励賞

中小企業区分

株式会社 KDP

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	大阪府大阪市港区築港 2-1-2 第一大阪港ビル 4F
業種	サービス業
社員数	50名
受賞歴	2017 奨励賞
ウェブサイト	http://www.kdp21.com/home.html

～未来の子どもたちのために持続可能な社会を創ろう～

取組の目的

弊社の企業理念の1つに、「世界一愛される企業を目指す」というものがあります。そのために、美しい地球や持続可能な社会を目指し、限りある資源を守り、豊かな自然環境を次世代に残すことが現在生きる私たちの責務です。

また、弊社では中小企業ながらSDGsにおける活動を全面的に推奨しており、それらの目標のうちの4番“質の高い教育をみんなに”において社内研修等に尽力しています。

これらの信念に従い、以下のことを行動の指針とし、実践できる人材を育てています。

① 「世界の現状を知る」

社会活動の国際化により世界各国で発生する異常気象、貧困問題が日本の社会経済にも大きく影響をあたえるようになってきている事実、また企業の「二酸化炭素排出量削減や従業員の適切な労務管理、社外取締役の独立性」といった取り組み姿勢も投資の判断材料とする ESG 投資への考え方が世界中で広まりその対応が、企業の投資価値を測る新たな評価基準として注目を集めているという事実を知る。

② 「私たちにできることは何かを学ぶ」

近年大手企業がバリューチェーン全体での環境への取り組みを強化しているという中で、中小企業としてもしっかり環境経営に取り組みをし、環境情報を開示していくという事が否応なく求められる状況になっている。そういった中で様々なステークホルダーに積極的に情報を発信していく言う意味でも、読み手の立場に立ったレポートの内容を工夫し、

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

そして検証ツールとしての高い質を担保していくことが重要となってくる。そこで、われわれ一人ひとりができることは何かを学ぶ。

③ 「実践する」

地球温暖化から未来の子どもたちに美しい地球を残していくために私たち一人ひとりに何ができるのかを考え、環境に配慮した製品の開発や提案が結果的に企業の売上や利益となる事で持続可能な企業を目指す。

④ 「成果を生む」

高効率 LED 照明の提案や電力マネージャーの導入で事業所の電力(エネルギー)の有効利用促進し、その見える化とコストパフォーマンスを向上させる。たとえ出来ることは少なくとも一歩一歩必ず成果につなげていく。

⑤ 「防災について」

近年、地震や津波による防波堤や橋桁、ガスタンクや燃料タンクの破壊で油の流出し火災発生危険性、橋梁や高速道路の倒壊など建造物が甚大な被害を受ける危険性がある。こうした建造物を自然災害から守る防災用の強固な塗装が急務である。また、隣国北朝鮮の核やミサイル発射の問題も取り沙汰されており、今後はシェルターの開発や津波時の高齢者用ノアの方舟的な設備も必要となる。こうした老朽化したインフラの「強靱化・長寿命化」に最適な素材として、当社が提案するポリウレタ樹脂コーティングを普及させる。

取組の実績

社員研修

○グレードアップ講座

- ・ 大阪府中小企業家同友会主催のエコアクション21取得のための講座の最終日において毎年開催され、エコアクション21をすでに取得している企業が自社での取り組みや環境経営レポート作成において気を付けている点などを発表しています。



グレードアップ講座の様子

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

○安全衛生委員会

弊社では、毎月一回安全衛生委員会の場を設けています。主に、安全教育、環境教育、環境経営に関する計画・方針の公表、物損及び人身事故の有無の報告・予防、新人教育など行っております。

社会貢献活動(地域環境美化促進)

○朝の清掃活動

社員の一言で始まった地域の環境美化活動。それ以来、8年以上続いています！！毎週火曜日には8:45から9時の朝礼が始まるまでの約30分間会社周辺から駅前周辺をみんなでゴミ拾いをしています。雨の日は、事務所内の清掃を全員で行っています。これまで一度も休んでいません。



朝の清掃活動の様子

防災訓練

毎年6月、10月の年2回、弊社にて消防訓練を毎年実施しています。火災発生の場合、緊急対応を適切に行うことによって、地元消防団を招き、従業員と近隣住民の安全及び火災による環境汚染防止に取り組んでいます。

エコドライブ

弊社ではエコドライブを推奨しております。主に、

- ・ カーシェアリングで台数減車
- ・ 空気圧点検で低燃費
- ・ 電車、バスなどの公共交通機関の積極的利用

などを指針として掲げています。

また、弊社では車両運行管理責任者を任命しており、

- ① 営業車両を使用する際には必ず運転日報を記載する。
- ② 安全運転とエコドライブの励行
- ③ 洗車の励行
- ④ カーシェアリング

といったことを全社員に毎月開催する安全衛生委員会にて促しています。

グリーン販売

高効率照明器具の販売やサービスの提供を行っております。私たちの環境経営は、自発的な環境配慮の取組の中で、環境負荷を削減するばかりでなく、製品の調達や利用段階での環境負荷の低減は勿論、新たなエコビジネスや環境に配慮した製品や技術の開発も視野に入れ

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

て事業活動を行います。事業活動に伴う資源・エネルギー消費と環境負荷の発生をライフサイクル全体で抑制し、また事業エリア内での環境負荷低減だけでなく、グリーン調達や環境配慮製品・サービスの提案・提供等を通じて、持続可能な消費と生産を促進します。

成果・課題

社員研修

○グレードアップ講座

大阪府中小企業家同友会主催のエコアクション21取得のための講座の最終日において毎年開催され、エコアクション21取得企業が自社での取り組みや環境経営レポート作成において気を付けている点などを発表しました。

今回弊社では、POINTとして...

- ① 写真やグラフを多用して分かりやすく
- ② 温暖化の影響など、環境問題の現状を冒頭に説明し、読み手に分かりやすく説明
- ③ 商品として取り扱うLED照明器具の節電効果説明(金額を含めて)
- ④ 環境負荷低減につながる業務最適化の取組紹介
- ⑤ BCP体制を詳細に紹介
- ⑥ 全員参加のEMSとして、毎週の近隣定期清掃活動を紹介

以上、レポートをまとめる際に気を付けたこととしてアピールしました。

○安全衛生委員会

今期では、主に請負現場ごとに行われる安全パトロールの強化、フォークリフト安全運転の徹底を行いました。

社会貢献活動(地域環境美化促進)

毎週火曜日を会社周辺のごみ拾いの日と定めて継続して清掃活動を実施しています。その甲斐あって周辺のポイ捨てゴミが大分減ってきています。

防災訓練

公設消防の指導のもと、消火訓練(水消火含む)を行い、ビルに設置されている同様の消火器を使用した消火活動の技量を習得できました。

同時に事務所内での火災発生の予防対策も今後の課題とし認識を改め取り組みを始める事としました。

いざというときは、「消火器」の使い方が解らず慌ててしまいがちですが、このように定期的に訓練をすることで、慌てず冷静に消火をすることが出来ます。

エコドライブ

今期は自動車教習所で開催されました。

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

エコドライブは燃料費の節約による経済効果、また安全運転にも効果があり、実践することで社内の経費削減になります。

特に重点的に指導があったのは、

- ① 発進時最初の 5 秒で時速 20km を出す
- ② 待機時のアイドリングストップの実践の 2 点でした。

その結果、講習前と後で燃費 22.1%改善しました。安全衛生委員会会議で社員と共有し、実践できる取り組みを構築していきます。

グリーン販売

株式会社 KDP 環境経営レポート 2017 P23~31 グリーン販売の項目を参照してください。

今後の改善

社員研修

次年度としては、より多くの社員にも巻き込みます。そのために、出前講座などを積極的に行い、一人一人の見識を深め、若い社員にも積極的に権限を与えていきます。各課・各部から担当委員を募ってもっと広い範囲での環境経営活動を行っていきます。

社会貢献活動(地域環境美化促進)

地域を巻き込んだより大きい活動を行っていきます。

防災訓練

中長期の計画として、災害に対する備えとして BCP 体制を構築していきます。

- ・ 現場ごと、災害発生時の防災マニュアルを作成し、皆が閲覧できるようにしたほうがよいのではないかと考えます。災害時にどこへ向かえばいいか、自分が何をすべきか明らかにする。社員全体での BCP の共有が必要になります。
- ・ BCP を作成するにあたっては最悪の想定からの方がいいと思われれます。災害がいつ起きてもいいような仕組み作りをするのがよいと思います。
- ・ 救命用品や個人を守る装備品をある程度社内で用意し、使える状態にすればよいのではないかと思います。
- ・ 社員の安否確認システムは今、LINE、連絡網とあるが、今後増やしていてもいいかもしれない。手段は多ければ多いほど良い。
- ・ 防災に当たって、担当を決めておくのがいいと思います。例えば、情報連絡班、事前防備班、応急対応班、早期業務対応班といったように。

エコドライブ

弊社南大阪営業所では自動車燃料が増加しています。その要因は、遠隔地の派遣スタッフの送迎です。出来るだけ送迎の要らない地域密着型の派遣先を増やし、効率の良い客先の開拓を目指します。

グリーン販売

- ① 来期は高効率の LED 照明の販売強化を目指します。国の補助金や省エネ診断、初期投資負担を考慮したリースやレンタルも積極的に提案し販売増進します。
- ② 水銀条約の関係で LED 化への促進がさらに大きくなると考えます。現在、工場や学校の体育館、校庭の投光器など水銀燈を多く使う施設に対して、水銀条約を理解してもらう事を重視しつつ販促を行います。

関連補足情報

環境経営レポート 2017

<http://ea21.jp/list/pdfn/0002568.pdf>

審査委員会からの講評

SDGs など最新の環境テーマを取り入れて、実践できる人材を育てている。社員向けに、エコアクショングレードアップ講座、安全衛生委員会の開催は評価であり、積極的なエコドライブ活動は優れているところである。社員及びステークホルダーを含めて、積極的に情報を発信、開示することは一歩進んだ取り組みとして評価でき、社員の主体的な活動を含めて取組の成果を見える化することで、社員全体の環境意識の向上につなげている。それ以外、ゴミ拾いなど地域美化活動を 8 年以上継続することは、社員だけでなく、周りの住民にも良い影響に与えるだろう。今後も社員の主体性を活かした取組を継続していただきたい。